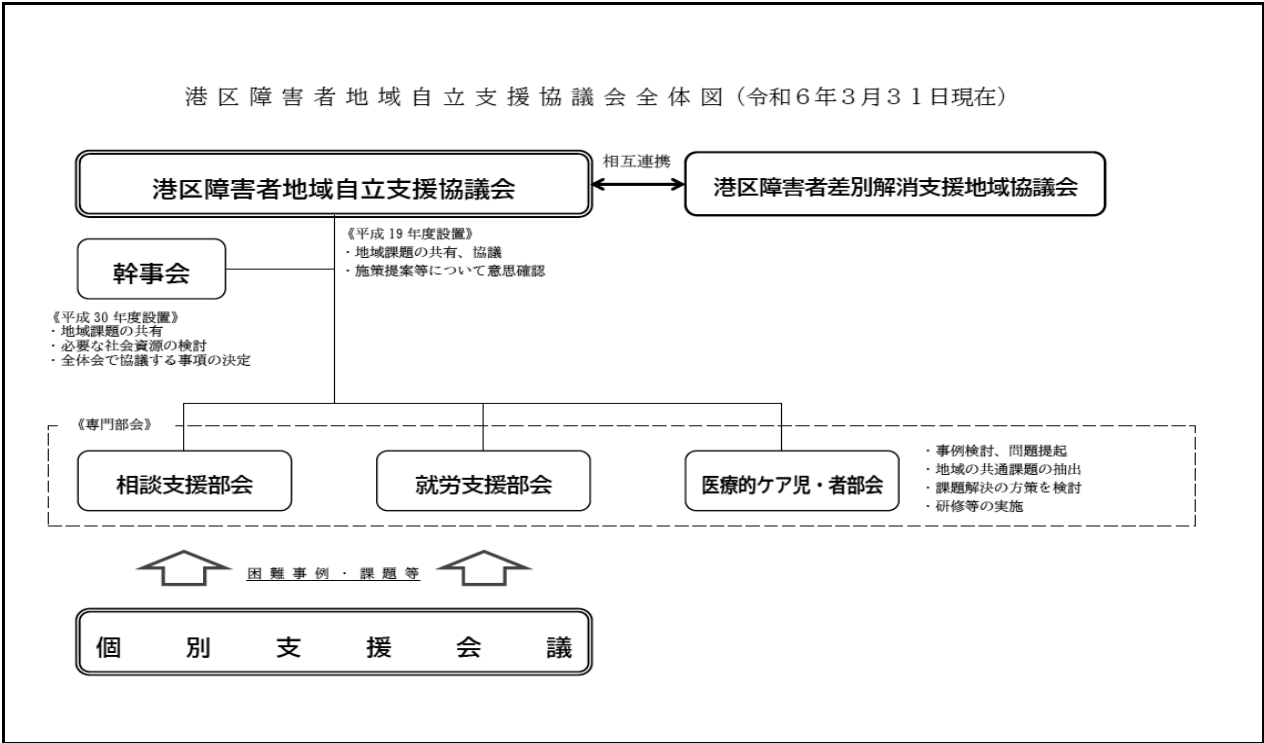


港区

1 地域自立支援協議会の基本事項

- (1) 名称 港区障害者地域自立支援協議会
- (2) ホームページURL 未開設(開催時に開催日時の掲示あり)
- (3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	ハイブリッド形式(集合とリモートの双方に対応した方法)	専門部会等	集合形式
-----	-----------------------------	-------	------

イ 開催時間

全体会	その都度異なる	専門部会等	平日日中(業務時間内)
-----	---------	-------	-------------

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経験年数
1	会長	高山 直樹	東洋大学 社会学部 社会福祉学科	学識経験者		6
2	副会長	丸山 晃	東洋大学 福祉社会開発研究センター	学識経験者		6
3		吉澤 豊	特定非営利活動法人 らく福祉会	学識経験者		6
4		中林 秀夫	東京都港区医師会	医療関係者		6
5		青木 正賢	弁護士	法曹関係者		6
6		田中 泉	港区民生委員・児童委員協議会	民生委員・児童委員		1
7		岡戸 良雄	東京都立港特別支援学校	教育関係機関		1
8		島添 聡	東京都立光明学園	教育関係機関		1
9		奥野 佳宏	港区社会福祉協議会	社会福祉協議会		6
10		吉田 佳子	港区心身障害児・者団体連合会	家族・関係団体		6
11		廣岡 孝	港区心身障害児・者団体連合会	家族・関係団体		6
12		山本 恵理	相談支援部会	相談支援事業者		3

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験 年数
13		長瀬 伸一	就労支援部会	障害福祉サービス等事業者		2
14		高井 玲子	公募委員	地域住民		6
15		高田 千明	公募委員	地域住民		6
16		永廣 証人	公募委員	地域住民		6
17		高橋 由香	公募委員	地域住民		3

(2) 委員構成

種 別	全体会・ 部会名	全体会	相談支援 部会	就労支援 部会	医療的ケア 児・者部会
学識経験者		3			1
医療関係者		1			3
保健所		0			
教育関係機関		2			2
雇用関係機関		0			
企業		0			
障害当事者（ピアサポーター含む）		0			
家族・関係団体		2			3
身体・知的障害者相談員		0			
相談支援事業者		1	38		2
障害福祉サービス等事業者		1		20	5
社会福祉協議会		1			
法曹関係者		1			
民生委員・児童委員		1			
地域住民		4			
行政職員（区市町村）		0			
行政職員（都）		0			
その他		0			
計		17	38	20	16

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

相談支援部会の活動報告をもとに、相談支援事業所の現状や地域の課題、相談支援専門員の更なるスキルアップなどについて協議した。

② 就労支援に関すること。

就労支援部会の活動報告をもとに、就労支援事業所の現状や地域の課題、事業所間の連携強化や情報共有などについて協議した。

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

日中サービス支援型グループホームの整備、障害特性にあわせた生活介護、ヤングケアラーへの支援、地域移行支援の現状や課題など、充実させる必要のある地域資源について報告・協議した。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

地域生活支援拠点等事業について、相談実績、対応事例、専門的人材の育成・確保や今後の取組などについて報告・協議した。

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

障害福祉計画等の進捗状況、港区障害者計画・第7期港区障害福祉計画・第3期港区障害児福祉計画（素案）について報告・協議した。

（２）地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

① 情報の顕在化

各委員、各専門部会からの地域の現状や課題、区からの施策等の情報について、協議会の場で報告し意見交換をしている。

② 情報共有・情報発信

障害のある方に関する区の施策の進捗について、必要な連絡調整・情報共有を行っている。今年度においては、各専門部会からの活動報告を行うとともに、区の事業の進捗状況や地域生活支援拠点等事業について情報共有を行った。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

相談支援部会・就労支援部会間で相互に会議に参加するなど連携を図るとともに、協議会において各部会の代表による報告や情報共有を行っている。

⑤ 地域課題の整理

各専門部会から上がってきた課題を全体会に報告し、解決の方向性などを協議している。

⑥ 課題解決に向けての検討

各専門部会からの地域の課題について、各委員からの意見・提案をもとに地域で解決できる内容なのかを検討するとともに、区の施策に反映することで解決できるかどうかを検討している。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

障害のある方に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために、障害福祉計画等に計上した事業の進捗状況を報告・協議している。

⑧ 社会資源の開発及び改善

各専門部会からの地域の課題について、各委員からの意見・提案をもとに地域で解決できる内容なのかを検討するとともに、区の施策に反映することで解決できるかどうかを検討している。

（３）地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

② 専門部会やその他の各種連絡会等から検討が必要なものを取り上げている。

障害のある方の住まいの確保、ヤングケアラーへの支援、家族支援などについて取り上げ、意見交換等を行った。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

相談支援部会において、個別支援会議に重点を置き、ケースの共有、困難事例の検討や地域移行などのスキルアップ研修を行った。グループに分かれて、具体的に個別支援会議を行った事例や相談支援を進める上で困っていることなどを話し合い、事業所間で情報交換を行い、連携を強化する効果があった。

② 社会資源の開発及び改善

各部会において、移動支援や放課後等デイサービスなどサービス提供事業所の不足や事業所同士の情報共有の強化など地域の課題を議論し、活動報告を通して必要な地域資源について、全体会で報告・協議を行った。また、地域生活支援拠点等事業を進める中で、既存の資源の把握や新しい資源の検討を行った。

⑧ 障害児支援

児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所が不足していることと保護者が安心して就労できる環境へのニーズが高いことなど課題の共有を行った。

⑩ 就労支援

就労支援部会において、地域の事業所見学に加え、サービス種別ごとの分科会による情報共有、企業における障害者雇用の実態を把握するための研修等を行った。

⑬ その他（障害のある方の住まいの確保について）

障害のある方の親亡き後も見据えた住まいの確保について、現状や今後の方向性（日中サービス支援型グループホームの必要性）などについて報告・協議した。

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域自立支援協議会の活性化

（１）地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	一概には言えない。	専門部会等	一概には言えない。
-----	-----------	-------	-----------

具体的な内容

以前に比べると、委員構成や議題の整理を進めてきたが、依然として情報共有や事業の進捗状況の報告が中心の場となっており、個別の支援から地域の課題を抽出し、それを協議し解決策を検討する場として十分な機能を果たすには、引き続き協議会のあり方の検討が必要であり、評価するのが難しいため。

イ 活性化するための今後の取組

- ・全体会や部会の委員に対して、協議会がめざす役割の理解を促す。
- ・議題や資料について、協議がしやすくなるよう工夫する。
- ・議論が活発になるよう、グループ型の座席配置を検討する。

（２）ＩＣＴの活用

- ・集合形式では参加が困難な障害者等はWeb会議を活用して参加
- ・遠隔コミュニケーションロボットを活用して会議等に参加
- ・会議録は、音声認識による文字起こしツールを活用